

11/19 芸術館開催分ご意見・ご感想

No.	意見・感想
1	名越にもどすことのないようにご検討下さい。
2	名越クリーンセンターは、すでに何十年もまたされています。ぜひ、今回は別の場所へ移してください。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・新ごみ焼却施設は、加圧式なのか。 ・加圧方式であればイニシャルコスト、ランニングコストが非常に多く費やされることになる。 ・何故、一極集中で進められるのか。 ・地域分散型で進められた方が良いと思います。 ・鎌倉市は、観光都市なので、道路の混雑を出来る限り緩和する様にすべきではないか。 ・運搬費用のかからない様すべきではないか。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風土保全是景観なども含めた「風土」であり、稜線をこわす建築物は問題である。たまたま、野村総研は古都保全法の2、3年前に作られたため、保全地域から除外されたが、本来は建設する事が好ましくない場所に新たに景観を著しく損ねる巨大施設を建設する事は厳につしむべき。審議会や用地部検討部会のメンバーは古都法に疎い人がほとんどで、市担当者は、丁寧に古都法について説明すべき、古都法からみれば、稜線の景観を守るという観点からは、秦野市のごみ焼却施設も論外である。 ・ごみの運搬車両：鎌倉市は事業系一般廃棄物を収集していないので、市内の飲食店等から排出される廃棄物は事業者が直接持ち混み、または民間の一般廃棄物処理事業者に委託して市の焼却施設等に直接搬入している。こちらの事業ごみ搬入経路は発生時業者から最短の経路を使うと考えられる。主たる発生エリアは、大船駅周辺及び鎌倉駅周辺の商店街であり、この2大発生エリアから搬入されるごみの車輛の問題を十分に把握すべきである。交通については、事故、交通障害も考慮すべき。 ・通常のごみ焼却工場のごみピットの容積は焼却量/日の2、3倍程度であると思われる。大規模災害の発生後、交通は数日以上混乱すると思われるので、災害時のエネルギー拠点としての機能は限定される。特に野村総研跡地の場合、橋が崩落するような事態になると数カ月以上にわたって、ごみの搬入はできなくなる。 ・洗湯や温水プールは、地元住民にとっては、さらに外からの車の流入を増やすので、地元還元施設とは言えない。 ・エネルギー回収は、発電の効率は、20%以下なので残りの80%の熱の利用が様である。温水プールなどは発生する熱量からすると微々たるものである。温水プールなどは、発生する熱量からすると微々たるものである。業務用や下水道処理施設など本格的な利用を考えなければエネルギー利用しているとは言い難い。

11/21 玉縄学習センター集会室開催分ご意見・ご感想

No.	意見・感想
1	<ul style="list-style-type: none"> ・矢張り焼却場ありきの感が強い、今後の減量化、ゼロエミッションを基本にして、出来るなら焼却場はなくしてという構想は持って欲しい。 ・名越に半分の30億円、地元対策に掛け、Techも進んでいる施設に改良し、福利施設を充実させたらどうかという意見もきく。節税、提案型調整 ・JR開発地は巨大な利益を将来得る。他3候補地は多分マイナスだけでプラスはないが、JR開発地は両方を考える必要があるのではないか。市民からは開発と焼却場は同じレベルの課題に見え、合せて考えるべきか。 ・将来的にはゼロエミッションで焼却場が必要でない市政を期待したい。